

市政を問う

18人が一般質問



一般質問は要点だけをまとめたものです。全体を知りたい方は、会議録が各町図書館にありますのでご覧下さい。また、小城市のホームページにも掲載されます。(会議録の設置及びホームページ掲載は8月下旬の予定です。)

下村 仁司 議員



県央に光る交通拠点の町づくり計画について

問

① スマートイン
ターチェンジ設置
による市内を縦に芦刈ま
でつなぐ道路整備はある

答

(江里口市長)

① 南北一本の道路
は必要だと認識している
が国・県の協力が必要だ。
② 牛津町商店街の活性化
が大事であるが牛津・芦
刈商工会と連携を深め、
商店街の知恵袋マップや

問

① 三日月町内の新
興住宅激増による
交通危険ヶ所は。その対
策は。
② 国道二〇三号線の歩道
設置計画は。

答

(江里口市長)

① 明確に何ヶ所あ
るか把握していないが住
民の意見を聞き、計画を
立てたい。
② 西水幹線水路改修工事
に合わせ大寺交差点から
三日月庁舎間の歩道設置
は国に要望している。
③ 織島地区の皆さんと協
議して有効利用を図りた
い。通常は利用していな

問

① 森林産業の振興、
森林の持つ多面的
機能の高度発揮に向け、
林道の整備は。

答

(江里口市長)

② 天山から有明海までの
自然環境を大切にすると
い。
③ 木材価格が低迷する中
に低コストにつながるよ
うに、森林漁村活性化プ
ロジェクト支援交付金事
業を活用し、高性能森林
機械のプロセッサを導入
予定。



▲市有林

中島 正樹 議員



市民に愛される病院をめざせ

病院事業については、全国的な医師

不足の影響などにより地域医療の崩壊が懸念され

ている。

市民病院でも医師不足により、診療体制の縮小を余儀なくされ本来の体制をとれず、市民に大きな不安を与えている。

昨今の急激な医療環境の変化の中で市民病院がなすべき医療のあり方や今後の方針は。

科目の整備も必要と考

えるが、まず本来の体制をとれるよう医師確保に努める。

また、病院連携、病診連携を深めることにより市民の安心感につながると思う。

今後は、亜急性病床の申請を行う準備も進め、公共病院の果たす役割の明確化が必要で、本年度中に「改革プラン」を策定する。

給食センターはどうなる

学校給食のセンター化への現状と今後の計画は。

（今村教育長）

国の耐震などにかかわる緊急な案件が生じた。

給食センター建設と学校の耐震補強のいずれかについて勘案したが、センター化の方向性を持ち

ながら計画延期とすることになった。

今後は、耐震について非常に重篤とされる三日月中学校、芦刈小学校、芦刈幼稚園などの耐震補強に対応していく。

（今村教育長）

判断がつかない厳しきがある。今後は、市長部局と慎重

堤 克彦 議員



既存庁舎の候補地は

検討委員会において、新築する場合

の二ヶ所、既存庁舎の一ヶ所は、どこなのか。なぜ三日月庁舎なのか。

（江里口市長）

市民に愛される病院ということで、民間病院が取り組みにくい診療

（江里口市長）

利便性、危機管理財政、拡張性、各種計画との関連性など総合的に判断した。

（森永副市長）

基本構想の中では、エリア的に新築の場合小

城駅南側と二〇三号線沿い、既存庁舎は小城市庁舎

説明資料の「三日月地区においては都市計画区域外であるため、宅地開発が進む結果、低密度な市街地が拡散し、秩序あるまちづくりを取り戻すため周辺部の開発を抑制する」とは。

（森永副市長）

三日月地区については相当の開発が進んでおり、今現在都市計画区域でないため、一定の手続きの中で開発されてお

本庁舎の整備方法

三日月庁舎敷地だけでは不足する。増築の建設用地及び駐車場用地として、約一万五千㎡程度必要となる。小

（今村教育長）

国は、耐震などにかかわる緊急な案件が生じた。

給食センター建設と学校の耐震補強のいずれかについて勘案したが、センター化の方向性を持ち

（江里口市長）

当然検討している。移行するためにはある程度の増改築が必要である。

（今村教育長）

判断がつかない厳しきがある。今後は、市長部局と慎重

（江里口市長）

予算を計上するには、条例改正の議決を得て、議会に計上。今は概略という形でしか示せない。

（江里口市長）

庁舎利用の大きな観点であり、検討中。

に協議し検討していく。



▶小城市給食センター

江島佐知子 議員



市民のニーズに どう応えるか

問 ①放課後児童クラブについて、今年度当初桜岡小学校、三日月小学校で待機児童が発

生した。今後ニーズはますます高まると思うが、どう対応するのか。時間延長についての考えは。

②公民館などの施設利用について、窓口での接遇や利用時間、休館日の設定など見直しが必要な箇所があるのでは。

③生きがい対応型デイサービスの統合について、利用者の声をどう反映させるのか。現在各町四ヶ所で開催されているが、それぞれに取り組みの違

いがある。どう統合させるのか。

答 (今村教育長)

①待機児童については、現在学校の協力で空きスペースを活用して受け入れをしている。国のガイドラインに沿って家庭の構成、就業状態などの審査基準を設けているが、今後はニーズ調査や周知を早めにして抜本的な対応策を検討する。時間延長については、社

会情勢に対応していくが、施設管理、就労管理、保護者負担など課題も多い。

②職員の接遇をきちんとして理解を求めることが必要。弾力的な運用については、今後研究したい。

答 (江里口市長)

③行財政改革を遂行していくためには、デイサービス事業も再編し効率的な運営を図る必要がある。今年度は準備期間として交流事業などをしながら、利用者の意見

を検討し、しっかりと説明して理解を求めます。

答 (藤野高齢福祉課長)

③交流事業を数回となく行いながら説明していく。サービスを落とさないよう改善なども考えながら検討していく。

他、「児童、生徒の安全の確保についての再考」と「三日月庁舎への本庁舎移転」について質問しました。



▶サロンと一緒に行われているデイサービス(桜葉館)

中島 正之 議員



江北バイパスと有 明沿岸道路の開通 は何年度か

問 ①二十二年開通予定の江北バイパスに
関係する南部開発の

道の駅、住宅政策はどうなっているのか。また既に完成している橋を自転車、歩行者が渡るようにできないか。

②沿岸道路の町内の農地の契約金額が三段階に分かれていますが町内は同一金額で契約すべき。

③中村地区の歩道整備はどうなっているか。

④中村地区には沿岸道路の敷地に入る蛇行したクレークがある。直線的につけ替えを。

⑤インターや三日月庁舎へのアクセスとして杜摺小路線を旧江口パーツまで伸ばし牛津駅南の道を芦刈までつなぎ南北道路の整備を。

答 (森永副市長)

①橋の利用については佐賀土木に改めて伺う。道の駅は経費の点など、難しい。庁舎敷地の活用も一つの案だと思う。今の計画はフォーラムと協議する事項。

②地域の特性上、三段階は地域で問題がある。県には一定の事は申し上げており今後も留意していきたい。

答 (中野建設課長)

③歩道設置は確約済み。両側に歩道を江北芦刈線の開通を見計らう格好で入っていく状況。④佐賀土木では整備は行うと言っている。その整備には、L型管渠で西の方まで一遍にしてくれと要望をしている。

答 (江里口市長)

⑤芦刈の方の農免道路から旧江口パーツ、それから北と言う事での道路の考え方、もう一つは、牛津駅南からの芦刈に向けての道路の考え方、市としても将来的な道路計画の中では非常に重要な位置づけであると我々も認識している。二つの道路は、我々も重要性というのも考えているが、大きな事業費を伴うので、しっかりと財政計

画など含めて事業計画を練っていかないといい問題である。市道の整備についても、市内の中で合併して重要路線と言う位置づけもしており、整備の方法についても今後いろいろと検討しなければならぬ。財政基盤を考え道路計画を進めていく。

金原 修光 議員



公立保育園・幼稚園の運営は今後どうなる

問 公設民営化について、庁舎内検討会の結論は。

答 (江里口市長) 保育園・幼稚園の民営化に向け進めていきたい。

答 (今村教育長) 今年度は、保護者説明会を開催し、理解を求めたい。

問 公立三日月、芦刈各幼稚園は専用バスを運行してるが、公立

晴田幼稚園だけバス運行していないのは、なぜ。

答 (永淵教育部長) 来年四月から、各施設の指定管理者へと準備を進める。

問 市体育協会の効率的な運営に、努めるべきだ。

組織機構の見直し

答 (江里口市長) 園児の健康観察のため保護者をお願いしている。

問 小規模工事を要望する声は多い。直営工事係を新設すべきだ。

答 (江里口市長) 職員が即対応するので現体制で。

市民病院(九十九床)の現状をどう考える

問 病床利用率が、過未満の場合、病床数削減や、診療所化などの改革

を求められる。昨年の病床利用率は。

答 (野田病院事務長) 一昨年は六十一%昨年では六十%である。

答 (江里口市長) 医師確保と救急体制復活、午後の診療など回復に努める。

牛津中建設に市有林の活用を

問 八丁ダム横には、ひの木が植林され四十二年経ち、伐採時期が過ぎている。業者選定では市有林の活用を明記し、契約することは。

答 (江里口市長) 市有林を活用すると、二〜三割程度コスト増になる。現状では無理。

明石 壽彦 議員



新幹線西九州ルート

問 三月二十六日、国の認可がおりて十年後開業をめざして工事が始まるが、現在六十六本の列車が三十本増える

九十六本通ることになる。小城市の中で沿線住民として騒音振動はもとより踏切の渋滞、安全面で非常に不安である。県に対して高架でないと同意できないと訴えてきたか。

答 (江里口市長) 踏切の安全確保、渋滞解消には高架が一番の解決策と認識しているが県は多額の負担増になるので高架については考えていないと表明している。

る。昨年十二月二十五日西九州ルート沿線踏切対策検討会が設立されたのでこれに期待している。

小城市のゴミ処理の考え方

問 天山区塵芥処理場は二十八年経過し老朽化が進んでいる。そこで小城多久広域清掃センターを建設するのか、県のクリーン財団が唐津に進めている産廃処理施

し老朽化が進んでいる。そこで小城多久広域清掃センターを建設するのか、県のクリーン財団が唐津に進めている産廃処理施

設に持ち込むのか。

答 (古賀建設推進課長) 処理施設を今から建設するにしても八年から十年かかる。その期間に今の施設が使用できない状況が考えられる。その場合当然県の施設が有力と考えられる。

答 (江里口市長) 秋の稲刈り後改修に着手し本年度完成予定。

問 牛津川国道三十四号からJR橋上下流が多量な堆積土があり通水断面が計画に達していないとの事。市長は二年前国交省に対してしゅんせつを強く訴えていくと答弁しているが国交省がやる気がないのか市の要望がたりないのか。

防災対策

問 福所江JR橋下の改修時期は。

答 (江里口市長) 六角川改修期成同盟会を通じて要望をしている。国交省の見解としてはしゅんせつしても一、二年したら又もとの状況に戻るといふ事ですが抜本的な対策を講じると事業費が膨大になる。そこでまずしゅんせつをするよう要望を続ける。

上瀧 政登 議員



「新幹線西九州ルート」安全性と規格

新幹線は現状の計画では安全性は確保できない。フリーゲージトレインの開発の遅れ

から線路幅の変更の問題即ち規格・運行の形態方式など問題が浮上してきた。県の負担額はどうか。

答 (江里口市長) 連絡協議会の中で、より具体的に、踏切の安全性・騒音について協議が今後行われていく予定。規格についてはフリーゲージ導入が計画されているが技術的な課題があり現時点では改良されて

いないと考えられる。県の負担額は工事費で二百一十億円・鉄道施設購入費と維持管理費で二十億円、合わせて二百三十一億円である。



▶踏切の安全性が問われる

空港道路・江北・芦刈線の早期完成を

起工式は終わったが牛津工区では工事に取りかかれないでいる。今後の見通しは。

答 (江里口市長) 小城市内の事業費ベースで七十五%の実施状況になっているが一部用地交渉が難行している。供用開始のおくれを心配しているが今後、地元

例もふえている。小城市

AEDの設置箇所増加を

救命器具「AED」の設置場所、講習会など現状はどうなっているか。

答 (今村教育長) AEDの使用により全国的に心臓蘇生の事例もふえている。小城市

では現在小・中学校、保健福祉センター、今年度中に小城市育センター、三日月体育館、牛津体育センター、牛津武道館、芦刈文化体育館、四ヶ所の公民館、桜城館、芦刈農村改善センターに設置する。グラウンドなど屋外の施設については管理の現況をよくみて今後対応していくべきと考えている。講習会は関係機関の協力を得て開催されている。

出向いて地権者の方と直接話したいと考えている。

は現在小・中学校、保健福祉センター、今年度中に小城市育センター、三日月体育館、牛津体育センター、牛津武道館、芦刈文化体育館、四ヶ所の公民館、桜城館、芦刈農村改善センターに設置する。グラウンドなど屋外の施設については管理の現況をよくみて今後対応していくべきと考えている。講習会は関係機関の協力を得て開催されている。

香月チエミ 議員



防災まちづくりの推進を

災害発生時に最も重要な初期活動に欠かせない、地域自主防災組織をどうつくっていくか。

答 (江里口市長) 自主防災組織の組織率は平成十九年度百八十一自治会中、約八十二%の百四十八自治会。今年度、地域の自主防災について話し合いをしてもらうための補助金の交付を予定している。

タートするべき。

答 (松本総務部長) 自治会によっても相当温度差がある。地域の実情や歴史をふまえて知識や経験を役立ててほしい。

タートするべき。

問 実際の組織率はまだ低い。実態をよく見きわめて事業をス

く見きわめて事業をス



▲自分たちで作る防災マップ (佐賀市 嘉瀬地区)

朝ごはん食べよう、の風どう吹かす

市の教育像として「早寝・早起き・朝ごはん運動」を掲げられたが、どこから着手するか。小学生で朝食を食べていない割合が四・三%、中学生で四・八%。三十分早起きしてタップリの朝食で、必ず意欲が湧くといわれる。これを機会に男性の家事参加も含め、みんなで作る朝

答 (今村教育長) 本年度、生涯学習課、学校教育課が中心となり、この運動のねらいを子どもや保護者に知ってもらうための周知活動をする。関係各団体も含め市民協働で展開したい。

ごはんを。ただ朝食を食べられない子どもたちの存在、厳しい環境にも思いを広げて取り組んでほしい。



▲しっかり食べよう朝ごはん

その他、市民病院の経営の展望を開くために取り組んでいくこと、などについて質問しました。

松尾 義幸 議員



救助用具の設置を
すすめよ

問

四月二十日砥川小
五年生が水難事故
で亡くなられた。事故を
教訓に防止策は。

① 牛津町永田区では、事
故後十日前後で、河川に
救助用具が設置された。
これを市内に普及するこ
とについて。
② 護岸施工ブロックの検
討と改善について。

答

(今村教育長)
① これは大変いい
ことだと思いい、青少年育
成の幹事会、評議員会の
折に紹介をし、設置をお
願ひした。命を守ること
なので、PTA、育友会、

答

(江里口市長)
② 水路護岸は、地
形、水路幅で違うので工
法も多種にわたっている。
近年、自然生態系や景観
に配慮した工法やコンク
リート製品などが考案さ
れている。今後は、計画
時に今以上に安全性につ
いても地元及び関係機関
と協議する。



▲牛津町永田区に設
置された救命用
具

問

これが救助用具。
(ポリ容器にロ
プを結んだもの) 永田
区では、すでに十ヶ所設置
されている。もう一つの
救助用具は、若松の海上
保安部が考案した「浮
くっちゃボトル」(二ℓ
容器三ヶ)を作り、もう
一つの二ℓ容器に約二十

答

(江里口市長)
ペットボトルとポ
リタンクは、非常に安価
で誰でもできるすばらし
いもので、救助のため
の用具を今、示してもら
った。それぞれの地区にす
まめて、ぜひ設置しても
らいたい。そういった運
動を我々はやっていき

答

(今村教育長)
今、紹介しても
らった救助用具のことは、
しっかりとした気持ちで、
必ずできると思うので努
力していきたい。

この他に、老人会
の現状と地域活性化、
消防水利の現状と対
策、天然温泉アイ
ルの日本一をめざして
を質問しました。

諸泉 定次 議員



膨れ上がる学校給食
費滞納の対応策は

問

学校給食費の滞納
額が平成十九年度
末の累計で一千六百四十
三万円。うち小城町が一

答

(今村教育長)
① 小城町は給食セ
ンター方式で、口座引き
落としが原則。他の三町
は学校の校納金と合わせ
て学校口座への振り込み
と、PTA地区役員の手

答

集めて学校口座へ振り込
む方法。これまでの滞納
対策は、各学期毎の三者
面談で納付相談をしたり、
児童・生徒などを通じて
督促状を送付している。
② 給食費の値上げは考え
ていないが、食材の値上
げが続けば場合によって
給食費値上げや給食回数
を減らすなど検討する。
③ 第三者を入れた検討委
員会の設置は考えていな
い。④ 悪徳滞納者には、
昨年佐賀簡易裁判所に相

問

給食費の滞納は払
えるのに払わない



▲親子給食で栄養士による食育の実施

答

(今村教育長)
行政で督促してい
たが、徴収は学校の責任
として今年度スタートし
た。毎月毎の滞納者、高
額滞納者、悪質滞納者の
三段階に分けて対応する。
額滞納者、悪質滞納者の
三段階に分けて対応する。
② 差し押さえ等々の
法的手段をとって個別に
対応する強い姿勢をとっ
ている。

答

(江里口市長)
その他、集団検診のあ
り方で、除外された特
定検診の女性と光化学
スモッグ対策について
質問しました。

平野 泰造 議員



耐震化値は。

答 (今村教育長)

昭和五十六年耐震関係の規定が見直され公立学校も平成十五年から三ヶ年計画で策定され小城市も十七年に実施した。

教育施設の耐震化

平成十九年四月現在県教育委員会に

よる県下小中校の耐震化率は五十六%、小城市は耐震化診断されているか。

答 (永渕教育部長)

Is値0.3以下が芦刈幼稚園の一部、芦刈給食

室、三日月中の屋内運動場と武道館、0.7以下が芦刈幼稚園の残り、芦刈小のほとんど、三日月中の大部分、芦刈中も以下がある。

問 「地震防災対策特別措置法改正法」

が今国会で成立。学校施設の耐震化の促進に向け緊急の支援措置を講じるようになったがどのような取り組むのか。

答 (今村教育長)

来年度は三日月中、芦刈幼稚園の耐震補強、二十二年度芦刈中の補強、二十三年芦刈小の改築を計画している。

学校プールの活用は

問 昨年は監視員が見つからず夏休みのプール解放がされなかったところもあつたが今年度の取り組みは。

たところもあつたが今年度の取り組みは。

答 (今村教育長)

一施設一名分の監視員賃金をPTAなどに補助することになっている。現在警備会社と交渉中であり、業務委託の内容についてはPTAなどと十分協議していきたい。

問 運営管理責任をPTAに持たせるのは大変と思う。市の責任は。

は。 砥川で悲しい水難事故があつた。芦刈公民館

(育成会)では救助用具を設置されている。その手助けは。

答 (江里口市長)

事故があつた場合施設に対する責任は市にある。お互い協力し合うことが必要だ。

答 (今村教育長)

水難事故に対して知恵を絞って取り組む。

※Is値：耐震指標。Is値が0.6以上で危険性が低いとされている。

堤 謙太 議員



安心安全な市道を

小城郵便局西側の市民病院に通じる

市道は、通学・通勤など住民にとって毎日の生活道路である。また緊急時、

問 救急車の進入道路として重要な市道である。安心・安全面から見ての市道の拡幅、市道整備をどのように考えているか。

答 (江里口市長)

この市道については十五・六年程前に道路改良計画の話があつたが、地元との合意形成ができなかつた。以前から非常に狭く、車の離合がぎりぎりであり不十分な道路と認識しているが、西側

には多数の民家が有り、相当の事業費がかかり財政上の問題がある。

答 (中野建設課長)

現在、道路整備交付金で、中学校から市民病院(小城)富士線交差点)まで十九~二十二年まで拡幅整備を行っている。

問 財政上の問題もあるが、早急に歩行者などの安全・安心のため歩道の設置が必要では。

め歩道の設置が必要では。

答 (江里口市長)

水路上に歩道設置ができるのか担当課とよく検討していきたい。

結 友好姉妹都市の締

旧小城町と友好姉妹都市を結んでい

問 旧小城町と友好姉妹都市を結んでいた鹿児島県知覧町は平成十九年十二月一日に合併をし、南九州市となった。

小城市として合併後の南九州市との友好姉妹都市

の締結は。

答 (江里口市長)

南九州市の霜出市長と今後も交流を続けたいとの話し合いをしている。ホテルの里ウオークには南九州市より三十五名の参加があつた。事前協議として副市長はじめ担当課が来訪され、正式に友好姉妹都市の継続を確認した。

問 今後の交流のあり方は？

答 (江里口市長)

スポーツ・文化・職員の交流は数多くある。両市で十分に協議・検討して進めていきたい。



▲5月31日のホテルの里ウオークには南九州市からも参加があつた

今村 昌幸 議員



本庁本式の
移行方法は

問 市の移行検討委員会などによる基本構想が尊重、活用されていない。八百四十万円が無

駄。既存庁舎の活用は、小城庁舎が最適でふさわしいと選定され、それに基づいて作業を進めていたが、なぜ三日月庁舎に変わったか。

答 (江里口市長)

利便性など五つの項目を再検討して、三日月庁舎が最適と判断した。

問 その五項目などは検討委員会、懇話会など専門的な立場で十

分検討、精査して小城庁舎がふさわしいと選定されている。本当に検討したか恣意的に三日月としたのではないか。

答 (江里口市長)

利便性などで三日月庁舎がベターだと判断した。

問 基本構想では洪水危険エリアの庁舎、国道二〇三号線を挟んだ改善センターは歩道もな

く同一敷地でなく市庁舎には不適とされ、三日月庁舎は活用しないとなっている。それを無視し三日月庁舎とした考えや試算もつかみで根拠がなく信用できない。

答 (江里口市長)

改善センターも利用したい。

問 小城市には、他の地域にはない遺跡、観光資源、桜の名所百選

持っている。

問 小城市の敷地は七千五百㎡あり裏には不足分の庁舎建築が十分可能。不足する駐車場として園芸連に無償譲与の九千四百五十七㎡がある。契約条件の協議によつては、返還の可能性もある。撤退すると聴くが。

答 (江里口市長)

小城市は、観光の玄関口という位置づけを

答 (江里口市長)

園芸連では、搾汁作業が行われている。

樋渡 邦美 議員



まちづくりの基本
的な考え方は

問 中心市街地活性化事業の現在の状況と基本計画ができて上がる時期、また国への認定申

請の時期は。

答 (江里口市長)

豊かで質の高い町なか居住と集落交流による経済の活性化を図り、また観光などを通じ魅力的なまちづくりを基本とし、商工会議所やまちづくり団体、住民の方々、佐賀大学、アドバイザーなどで構成する中心市街地活性化基本計画策定検討委員会を立ち上げて計画の素案を検討している。

答 (北島産業建設部長)

六月に内閣府へ第一回目の相談、十月に第二回目、十二月に認定申請の手続きを行う。

問 この事業は、小城市全体の計画なのか、それとも小城市のエリアの中の事業なのか。

答 (森永副市長)

小城市を中心とした地域と考えているが、そこを活性化することに

より各地域へその効果が伝播し発展するよう考えている。

問 小城市の基本構想によれば、将来の市の人口は平成二十三年には四万七千八百八十人、二十八年には四万八千人の目標であるが、ここ二、三年の市の人口推移を見ると、年間百六十人ぐら

いの減少が起きている。市はどのような定住促進を考えているか。

答 (江里口市長)

若者の流出と少子高齢化が本市においても顕著に出ている。

こうした現象は地域社会の活力の低下を招く恐れがあるため、恵まれた資源を生かした新たな取り組みを行うことによつて、人口増加や地域の活性化にもつながると考えている。

問 若者の雇用確保のために企業などの

答 (江里口市長)

適地として三ヶ所ぐらい絞っている。

答 (森永副市長)

現時点において工業用地を直ちに確保するのはむずかしいので、即戦力工業用地を確保する。

その他、職員の地区担当制度について質問しました。

合瀬 健一 議員



祇園川堤防の有効利用は

問 祇園川は小城町を基点として、三日月町で嘉瀬川と合流している。小城地区は蛍の名

所ということ、遊歩道もあり、いつでも散歩できるようになっている。ところが三日月町に入ると草が茂り、夏場は車も人も入れない。

小城市の総合計画でも自然環境景観の保全という項目があるが、全く景観の保全になっていない。三日月町の堤防両側約8kmを常に人が歩いたり自転車が行けるようになったら素晴らしいと思うが市長の考えは。

答 (江里口市長) 祇園川については堀江橋から下流が国土交通省の直轄区間であり、上流が県管理の河川となっている。県河川については、年一回の除草を行っている。祇園川沿いをすべて歩けるようになるのは難しい。歩いて状況を把握してみたい。

問 祇園川の堤防沿いには小城市百選の名所や旧跡が結構残って

いる。将来、もし簡易舗装でもできたら、観光の掘り起こしやウォーキングコースなど、皆さんが楽しめる場所ができるのではないかと思うが。

答 (江里口市長) 祇園川沿いの堤防のどこからどこまでを想定されるのか、現地を見ながら検討する。

問 三日月町に西平川という河川があり、

この堤防の半分が田に面している。年に二、三回堤防の除草はできないか。

答 (中野建設課長) 二回程度でもいいから除草してくれと県に要望している。県も業者に除草委託しているが、地元へ委託する場合もある。申し出があれば、県も地元委託を考えてみたいということである。



▲歩けない祇園川堤防

深川 高志 議員



九州新幹線の課題に対する小城市の取り組みは

問 西九州ルートでの地域振興連絡協議会

課題を提言しているのか、また、県による沿線市町への個別聞き取り調査や現場調査で、小城市は何を県に要望しているのか。

答 (江里口市長) 踏切りの安全性や騒音の問題は具体的な箇所づけをして対応策を求め、牛津駅南口の設置なども要望している。

答 (伊東企画課長) 実際の実態調査、

現地ヒアリングにおいて

踏切りの安全、改良について要望している。小城市は現状でもまちを分断され、沿線の市民や商店街は困っており、新幹線で本数が増えれば、影響が大きいことなど報告している。

市営住宅建替え計画はできているか

問 先頃の新聞で小城市の住宅建替え計画が報道され、建設予定

候補地として、牛津駅南、中学校南、柿樋瀬の三ヶ所とあったがほんとうか。また、一般財源に与える影響はどうなのか。

答 (中野建設課長) 小城市市営住宅建替え基本計画の中でも、そのとおり三ヶ所の候補地を上げている。償還の財源については後年度の住宅使用料を充当する予定で、市の財政に与える影響は少ないと考えてい

る。

本庁方式移行による三日月地区の整備の考え方

問 三日月地区について、周辺部の開発を抑制することで、優良な農地を保全し、庁舎を中心とした都市基盤の整った地域へ居住を促す必要があると言われたが、今後どうするのか。

答 (江里口市長) 本庁周辺で整備をするとすると、財源の問題があるので、国、県でできる分はお願いする。

答 (森永副市長) 土地利用計画の中で住宅地域、農業地域などはっきり区別をつけた都市計画をつくっていく。

議員活動あれこれ



戦没者追悼式(4月)



有明海漁場視察(5月)



市内共生ステーション視察(5月)



佐賀県総合防災訓練(5月)



岸川 英樹 議員



市民に便利な庁舎とは

問 本庁方式移行の効果が見込め、市民にとって便利な庁舎とはどう考える。

答 (江里口市長) 四つの既存庁舎の中

で、利便性、危機管理、財政的、それに拡張性、そういう観点から三日月庁舎を本庁舎として整備をしたい。

市民にとって便利な庁舎とは、住民サービスができる庁舎だと思っている。本庁舎が三日月庁舎になった場合には、現在の四庁舎で行っている窓口サービスは、それぞれの地域に残していきたい。

問 本庁舎建設で市長は約二十億円以内

を目指すとあるが、具体的に詰めた数字を示すこと。

答 (江里口市長)

建物の規模は七千五百㎡、既存庁舎を利用し、増築面積が約三千㎡。建物の想定費用と、既存庁舎の耐震調査、耐震の工事、不足分の用地の取得費など合わせたら、二十億円以内できると想定している。

定している。

耐震化診断の取り組み

問 市の施設の耐震診断について、診断結果と対策はどうなっているか。

結果と対策はどうなっているか。

答 (松本総務部長)

昭和五十六年以前に建設された施設で、学校施設以外は耐震診断が実施されていない。

答 (永淵教育部長)

学校施設では、牛津中学校、小城中学校は診断はやっていない。芦刈小学校のトイレ、渡り廊下もやっていない。社会教育施設、公民館棟が九施設、耐震診断はやっていない。財政と十分協議し診断していく。

他に市役所(職員)の行政サービスについて質問しました。



▶三日月庁舎が本庁舎に決定したが耐震調査はこれから